

市民公益事業支援（ステップ）部門採択事業報告



事業名	まちカフェ・プロジェクト～協働カフェによる地域と組織づくり～
実施団体名	熊之庄協働クラブ
事業の目的	様々な人が集まり、語らうことで、地域の人々の共感を生み、活動を主体的に起こし、声なき声を聴くことができる地域づくりは、地域住民の自信となり、またその地域の人々を育てる事になります。この地域住民が集い、語らう場を設けながら、そこに住む人々が何を想うのかを共有する中で、地域の自立を促し、地域全体で地域づくりの基礎を固め、まちづくりが楽しいという人づくりを行います。
補助金額	257,000 円
事業の概略	<p>5/30 午後 1 時～4 時 30 分 東公民館 2 階大会議室 「楽しい会議による楽しいまちづくりの極意」と題し、熊之庄協働クラブ会員ほか市民、市役所職員等と一緒に協働のまちづくりについて学んだ。</p> <p>9/5 午後 1 時～4 時 東公民館 2 階大会議室 「地域・組織が盛り上がるコツ！」と題し、熊之庄協働クラブ会員ほか市民、市役所職員等と一緒に協働のまちづくりについて学んだ。</p> <p>10/17 午後 1 時 30 分～4 時 東公民館 2 階大会議室 「熊之庄協働クラブの活動がこれからもっと楽しくなるアイデアを出し合おう」というテーマで、実際にまちづくり会議の見本となるべく、外部講師を招かずに実施した。</p> <p>11/1 午前 9 時～正午 師勝北小学校 学校、PTA、ボランティアを巻き込んでお餅つきを実施した。子どもたちと一緒にゲームなどして地域の交流を図った。</p>
事業の成果	楽しい会議の実施により、主体的にかかわることを感じながら、地域で話し合いをする環境を整え、まずは地域における関係性や取組む姿勢を学ぶとともに、外部講師に頼らない話し合いの場を構築することができた。地域の方々同市がお互いに触れ合うことで、子どもから大人まで地域への愛着をはぐくみ、市民同士の融和を図れた。
実施での問題点	準備に追われ、広く周知することが難しく感じた。クラブ会員の募集や活動概要の公表がほとんどできなかった。話し合いの場に行行政職員がもっとたくさん気軽に参加してもらえるとよい。市や様々な人達の参加が必要な事業で

市民公益事業支援（ステップ）部門採択事業報告

	<p>あるが、もっと広域的に、効果的に周知できるとよかった。もちつき大会ではたくさんの参加を見込んでたくさんの材料を用意し、お土産が多くなってしまった。</p>
<p>課題・今後の展望</p>	<p>早めに計画的に実施し、子どもから高齢者までが触れ合い、行政をはじめとする様々な人達に参加できるような工夫と発信力が必要ではあるが、市民が主役になる地域づくりのきっかけになるようにしたい。</p> <p>市の今後の姿勢（方向性）を事前に理解し、さらに広い地域や対象に、必要な活動を続けていけるとよい。</p>
<p>審査員評価</p>	<p>お互いの小さな声を聴く場を作れたこと、学校連携ができたことはよいと思います。</p>
<p>アドバイス・期待する点</p>	<p>カフェの手法で、防犯、環境、子どもの安全、高齢者の見守りそういった身近な地域課題について率直な意見交換をし、地域ならではの解決方法を見いだせる住民自治の先進地、市民主体の地域づくりとなっていくことを期待します。</p>